

真庭市の人口予想は？

2015年真庭市人口

46,124人

平成27年国勢調査人口等基本集計結果

25年で
-13,637人
(29.6%減)

2040年人口予想

32,487人

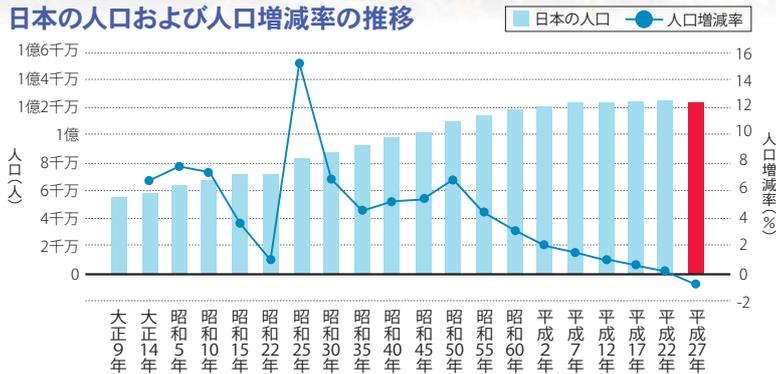
国立社会保障・人口問題研究所推計値

特集

人口減少への挑戦

日本全体の問題となっっている人口減少。私たちが住んでいる真庭市の現状はどうなっっているのでしょうか。今回は、昨年10月に発表された「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」から見えてくる真庭市の現状や課題、それに対する取り組み、また、移住された方や真庭に帰ってきた方のお話などを紹介していきます。

日本の人口および人口増減率の推移



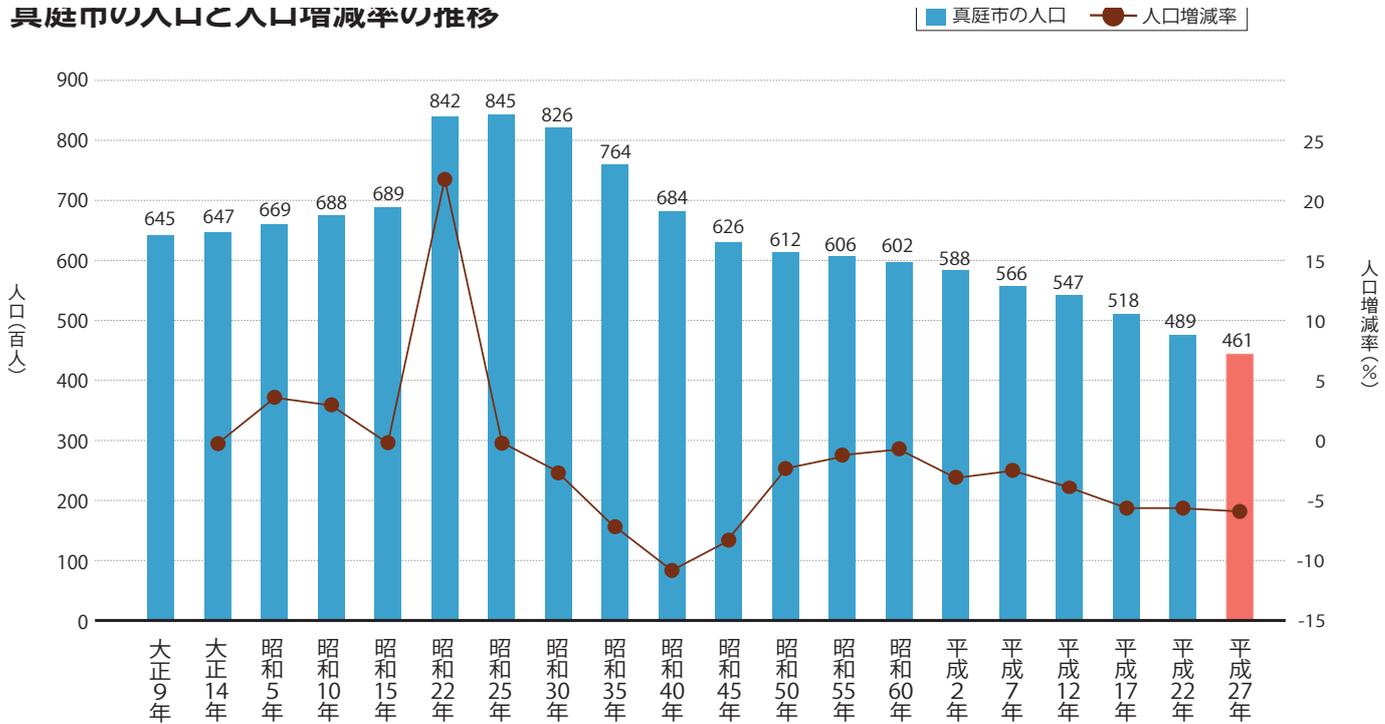
参考：総務省平成27年国勢調査人口等基本集計結果要約

● **日本全体の人口が減少**
平成27年国勢調査人口等基本集計結果(以下、「国勢調査」)によると、今回、日本の人口が大正9年の調査開始以来初めて減少(上記グラフ参照)しました。国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」)によると、今後、若年人口(20~39歳の人口)の減少と高齢人口(65歳以上の人口)の増加により今まで以上に人口減少が進行し、2040年代には毎年100万人程度が減少していくと示されています。また、生産年齢人口(年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口)

平成28年10月に、「平成27年国勢調査人口等基本集計結果」が発表されました。この結果を踏まえた、日本全体と真庭市の人口の現状と課題について説明します。

真庭市の人口 現状と課題

真庭市の人口と人口増減率の推移



●人口増減の2つの要因

人口増減には2つの要因があります。ひとつは出生と死亡による「自然増減」、もうひとつは他市町村への引越などに伴う転出と転入による「社会増減」です。多くの自治体が、少子化や高齢化により、死亡数が出生数を上回る「自然減」となっています。また、地方では、都市部への転出者数が転入者数を上回る「社会減」となっており、「自然減」と「社会減」が同時に起きているため、人口減少がより進んでいると考えられます。

●真庭市の現状

真庭市でも急速な少子化や高齢化が進んでいます。平成22年と27年の国勢調査の結果を比べると、2840人もの人口が減少しています。社人研によると、平成27年の25年後、平成52年の人口は、現在から約3割減の3万2400

人口減少が真庭市の将来に与える影響

【財政】

歳入では地方交付税や税収が減少、歳出では社会保障関連費が増加します。

【社会資本】

施設の利用者が減少し、施設の在り方や有効活用に大きく影響します。社会のインフラ(道路・下水道・水道など)の適正規模への計画の見直し、効率的な維持管理が課題となっていくます。

【経済】

・労働力不足
特に基幹産業である農林畜産業従事者の高齢化による労働力不足が深刻化します。
・消費活動の減少
経済産業の全体像や可能性、方向性を示す「経済産業」に関する基本方針・ビジョンによる、戦略的な経済産業施策の推進が急務となります。

人程度になると推計されています。また、生産年齢人口の減少と高齢人口の増加により、将来、生産年齢人口約1・16人で1人の高齢人口を支えることになる予想されています。

●人口減少を緩やかに
そして改善するために

真庭市の人口減少の要因も多くの自治体と同じように「自然減」と「社会減」です。特に「社会減」については、Uターンなどで真庭に帰ってくる「転入」も見られますが、進学により市外の大学などに

急激な人口減少を回避し、少しでも緩やかにしていくことが急務です。次ページからは、真庭市が持続可能な「まち」を目指すための2040年の目標を達成するための取り組みなどについて紹介します。

進学し、そのまま就職する「転出」が多く、「転入」が「転入」を上回っています。

真庭市の人口の将来展望

真庭市は現状と課題を踏まえ、人口減少を緩やかにしていくために、次の3つの基本方針を市民のみなさんと共有しながら的確に施策を進めていきます。

くまちく

多彩なまちの魅力に磨きをかけ、育てながら、人の流れを変える

くひとく

地域の活動と市民活動の連携による参画と協働により、多様な取り組みを進める

くしごとく

地域資源を生かした「回る経済」を確立し、就業環境の多様化と質の向上を図る



持続可能な「まち」を目指して

ここでは、真庭市が人口減少を緩やかにしていくために、どのような目標を持ち、取り組みを行っていくのかを紹介します。

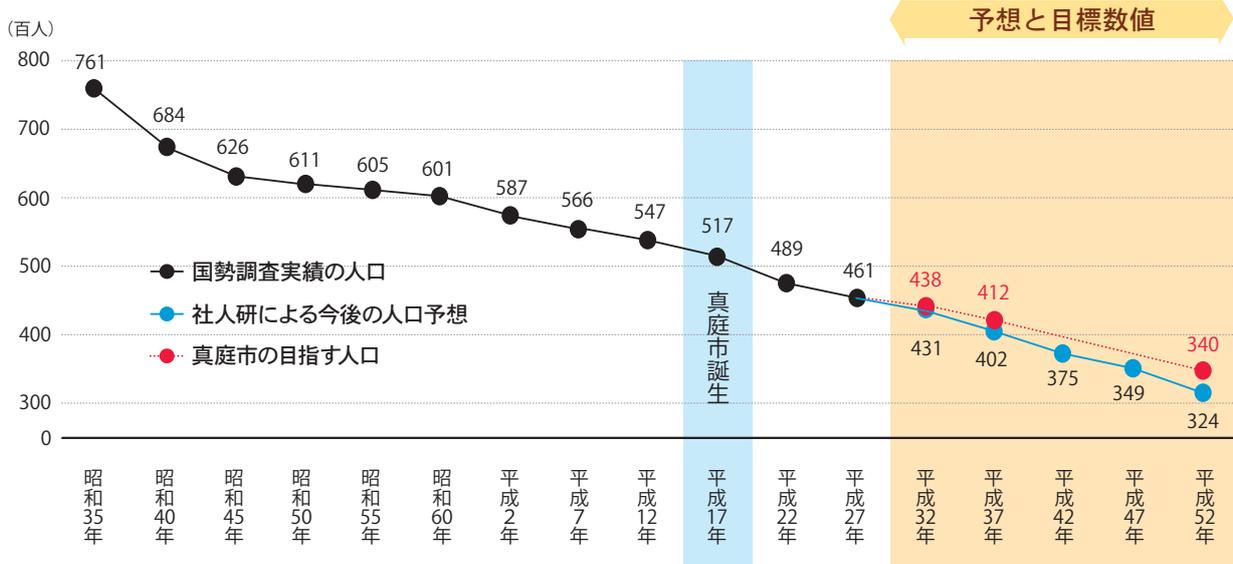
●なぜ2040年なのか

真庭市は、将来に向けて持続可能な「まち」をつくるための道しるべとして『第2次真庭市総合計画』を平成27年1月に策定しました。この総合計画は、科学的な分析と予測が可能な25年先の「2040年」を目標とし、「ひと」「まち」「市役所」の視点で、それぞれの25年後の姿と役割を描き、人口フレーム（目標とする年における推計人口数と年齢構成）を設定しました。また、平成27年10月に『真庭市総合戦略』と『真庭市人口ビジョン』を策定し、今後目指すべき将来の方向性と展望を示しました。

●人口減少を受け止めて

真庭市では、日本全体が人口減少社会であることを受け止め、減少を緩やかにしていく施策を的確に実施しています。今後、若年層、青年層、子育て世代の転入と転出を抑制する施策が着実に反映され、「出生率」と「純移動率（特定の時期、場所における転入と転出の差の率）」を改善していくことができれば、2040年の人口を、社人研が推計している3万2400人程度に対して約16000人多い3万4000人にする目標を達成できると考えています。

真庭市の人口の推移と目標値



参考: 真庭市人口ビジョン

真庭市が目指す人口フレーム (目標とする年における推計人口と年齢構成)

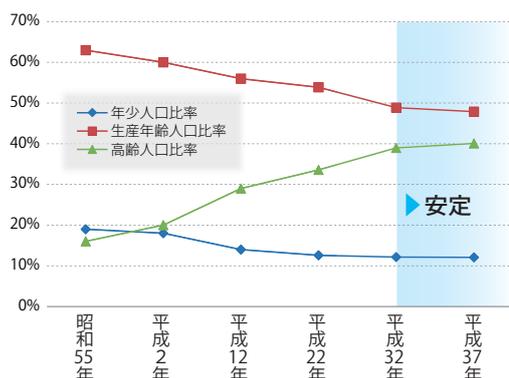
人口規模や年齢構成は、税収や交付税などの財政規模、提供する行政サービスの質と量、さらに将来の政策立案に大きく影響します。真庭市では、これから10年間で急速に少子化と高齢化が進み、年齢構成が大きく変化することが予想されます。人口減少を少しでも緩やかにし、また早期に年齢構成を安定させることが、将来の真庭市の経営にとって重要になります。

安心できる子育てと安定した教育施策が展開でき、地域コミュニティの維持も含めた市民の安全安心な生活が保障され、さらに増加する高齢人口を支えることが長期的に可能で、なおかつ現在の年齢構成を勘案し実現の可能性が最も高い「人口」および「年齢構成」(年齢4区分別人口比: 年少人口、生産年齢人口、高齢人口、出産年齢女性人口の割合)の目標値は次のとおりです。

年	総人口	年少人口 (0~14歳)	生産年齢人口 (15~64歳)	高齢人口 (65歳~)	出産年齢女性人口 (15~49歳)
平成32年	43,800人	5,300人 12.1%	21,400人 48.9%	17,100人 39.0%	6,600人 15.1%
平成37年	41,200人	5,000人 12.1%	19,700人 47.8%	16,500人 40.1%	6,000人 14.6%
平成52年	34,000人	4,100人 12.1%	16,500人 48.9%	13,400人 39.0%	5,000人 15.1%

※出産年齢女性人口数は、生産年齢人口数の中に含まれます

人口年齢構成の目標値



● 人口構成の安定化を図る

人口減少をただ抑制するだけではなく、人口年齢構成を安定させることも大切です。人口と年齢構成が安定することで、持続可能な「まち」にしていくことが可能となり、地域全体の活性化を図ることができそうです。そこで真庭市は、妊娠前から就学時までの切れ目のない子育て支援や就業支援、住居支援などの施策を実施し、出生率の上昇と若者や子育て世代の転入促進・転出抑制を進めていきます。

次ページから上記の人口フレームを目指して実施する施策について紹介していきます。

妊娠



妊娠前



妊娠・出産・子育て期を健やかに安心して過ごしていただけるようサポート

③妊婦歯科健康診査

赤ちゃんへのむし菌感染リスクを減らすため、妊娠中に市内の歯科医院で無料の歯科健診を「1回」受けることができます。

①不妊治療支援事業

医療保険対象外の不妊治療を受けた場合、治療費の一部を助成します。(2人目以降も助成)
年度内上限 20万円

④妊婦一般健康診査

妊娠中に岡山県内および鳥取県内の一部の医療機関で、無料の健康診査を「14回」受けることができます。

②不育治療支援事業

医療保険対象外的不育治療を受けた場合、治療費の一部を助成します。(2人目以降も助成)
年度内上限 30万円

問い合わせ先

- ①②③④⑥⑨は、健康推進課
- ⑤は、福祉課
- ⑦⑧は、子育て支援課
- ⑩は、市民課

TEL7-42-1050 (FAX1388)

TEL7-42-1581 (FAX1369)

TEL7-42-1054 (FAX1369)

TEL7-42-1112 (FAX1319)

真庭で「子育て」

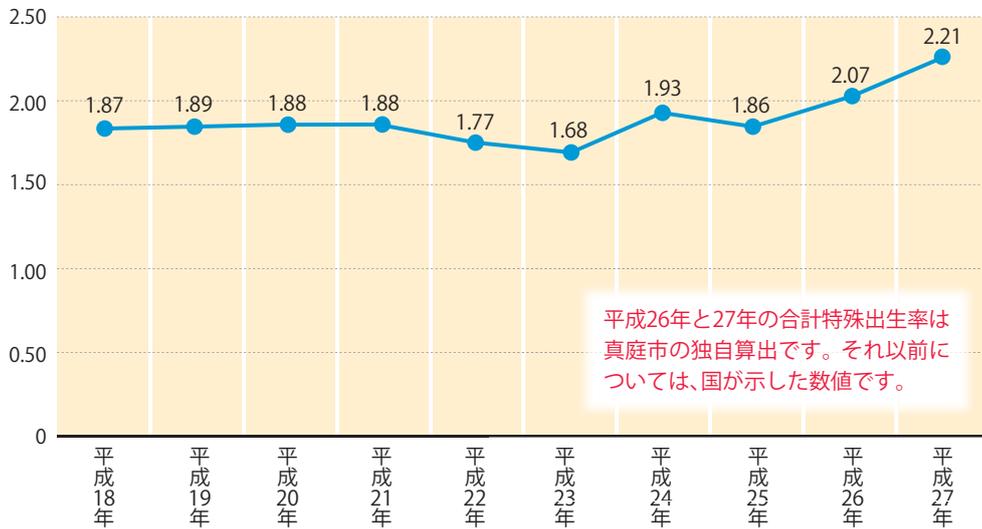
真庭市では、さまざまな子育てサービスを提供し、安心して妊娠・出産・子育てができる環境整備をしています。その一部を紹介します。

平成27年
合計特殊出生率

2.21

知っていましたか？
真庭の合計特殊出生率は
全国市町村トップレベル

真庭市の合計特殊出生率の推移



真庭市が独自で算出した平成27年の合計特殊出生率は2.21でした。この合計特殊出生率とは、「一人の女性が一生の間に生む子どもの数」のことです。現在の人口を保つためには、2.07が必要とされています。平成27年の全国平均は1.46、岡山県は1.54でした。数値が高いほど、子どもを



教育



子育て



出産



真庭市はぐくみセンター TEL 7-42-1816 (FAX1388)

⑩乳幼児・児童生徒医療費給付制度

中学卒業まで、県内医療機関受診時無料
(県外医療機関を受診した場合、領収書が必要)

⑨中学生尿中ピロリ菌抗体検査

中学生の希望者を対象に、ピロリ菌の感染検査、陽性者のピロリ菌除去の治療費を助成します。

- ①尿中ピロリ菌検査 (無料)
- ②①陽性者への尿素呼気試験 (自己負担有り)
- ③②陽性者へ除菌治療 (自己負担有り)
- ④実施者の尿素呼気試験 (自己負担有り)

⑦幼稚園、保育園、こども園

真庭市の保育料は、第3子以降の保育料が全て無料(所得制限なし)であるなど、岡山県下ではトップクラスの水準です。

⑧病児保育、お迎えサービス

小学生までの子どもが病気の際、自宅で保育することが困難な場合、医療機関で一時的に保育します。(3月開設予定)

⑤里山まにわからの贈りもの事業

木のぬくもりを感じることで、豊かな感性や自然を大切にすることを育むことを目的に、新生児に木のおもちゃをプレゼントします。

⑥出産後の支援

母乳ケアなどの相談に応じる「母乳育児相談」、親子で医療機関に宿泊し出産後の身体を休めたりする「産後ケア」、家事や育児支援を行う「子育て支援サポーター派遣」(妊娠中から)があります。

合計特殊出生率が高い自治体ランキング

1	鹿児島県伊仙町	2.81	12	沖縄県南風原町	2.09
2	沖縄県久米島町	2.31	13	熊本県錦町	2.08
3	沖縄県宮古島市	2.27	14	沖縄県南大東村	2.07
4	沖縄県宜野座村	2.20	14	熊本県あさぎり町	2.07
5	鹿児島県徳之島町	2.18	14	沖縄県多良間村	2.07
5	長崎県対馬市	2.18	17	鹿児島県瀬戸内町	2.06
7	沖縄県金武町	2.17	17	鹿児島県長島町	2.06
8	沖縄県石垣市	2.16	19	鹿児島県屋久島町	2.03
9	長崎県壱岐市	2.14	19	沖縄県豊見城市	2.03
10	鹿児島県天城町	2.12	19	鹿児島県南種子町	2.03
11	鹿児島県与論町	2.10	19	福岡県粕屋町	2.03

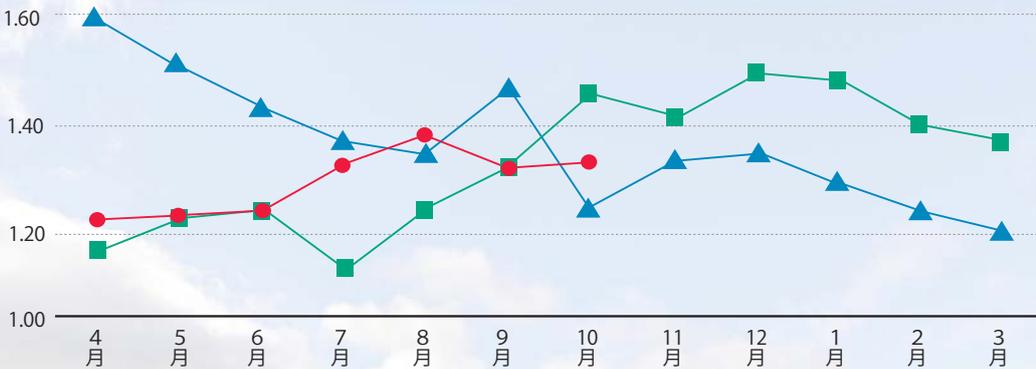
厚生労働省の「平成20年～平成24年人口動態保健所・市区町村別統計」の合計特殊出生率のデータによる、合計特殊出生率の高い上位自治体

合計特殊出生率の算出方法は、「期間合計特殊出生率」と「コーホート合計特殊出生率」の2つがあります。「期間合計特殊出生率」は、ある期間(1年間)の出生状況に着目したもので、その年における各年齢(15～49歳)の女性の出生率を合計したものです。真庭市もこの「期間合計特殊出生率」を基に算出しています。

産み育てやすい地域ということも言えるのではないのでしょうか。
平成27年の真庭の合計特殊出生率を厚生労働省が示している5年間の平均値のデータを基にした、上記ランキングと比べてみた場合、真庭市は全国で上位に入ることがわかります。
また、岡山県内の市のみの合計特殊出生率と比べた場合、合併で真庭市となつて以降1位を保っています。

真庭市の有効求人倍率の推移

▲ 平成26年 ■ 平成27年 ● 平成28年



左記の有効求人倍率は、真庭市に住む有効求職者数と就業場所が真庭市内にある有効求人数を基にしたものです(試算値)

情報提供元：岡山労働局



真庭産業団北区域の一部

真庭で「働く」

真庭市の求人状況や真庭産業団地の企業誘致状況、人材確保の取り組みなどを紹介します。

●真庭市の求人状況

真庭市内の求人状況について見ていきましょう。上記は、岡山労働局が示している平成26年4月から28年10月までの真庭市の「有効求人倍率」を試算したものです。この有効求人倍率とは仕事を探している人1人あたり何件の求人があるかを示すものです。求人倍率が1・0より高ければ、「仕事を探している人」の数よりも「企業が求める人(働き先)」の数が多いいということですが、それを見ても「企業が求める人(働き先)」の数が多いいという点で、変動はありますが、全てで1・0を越えており、全国的な情勢と同様に数字の上では市内で仕事を探している人の数以上に働き先があることが分かります。

●真庭産業団地の現状

真庭産業団地を例にとると、平成15年の分譲開始以降、平成28年12月1日現在、北区域(全13区画)は完売し、主に木質バイオマス関係の事業者など6社による工場が操業



真庭産業団地北区域写真

しています。また、南区域(全18区画)については、8区画で精密部品加工企業など6社が操業しています。このほか、4社が工場建設中または立地が内定しています。この産業団地への企業誘致により、少なくとも176人の新規雇用が生まれ、真庭市の「働き先」の一つとして大きな役割をはたしていると言えます。

●人材確保の取り組み

真庭市は、市内の高校と真庭いきいきテレビと連携し、市内事業者の人材確保につなげるため、企業の魅力を伝える番組を放送しています。また、企業説明会への出展やインターンシップを受け入れる事業者に対する支援制度を設けています。このほか、市内で新たに起業(開業)を考えている人のために、商工会と連携したセミナーの開催や補助制度を設けています。この3年間で「真庭市起業支援事業補助金」を活用し、27社(11月末現在)の起業があるなど、新たな「働き先」が生まれています。

高校生に地元企業を紹介

真庭しごと魅力発信事業

真庭市内の高校（4校地）と真庭いきいきテレビ、市役所が連携し、『シゴトバ』という番組を放送しています。この番組は、市内企業を地元高校生が取材し、生徒に「しごと（働く場）」への理解を深めてもらうと同時に、番組を通じて市内企業の魅力を紹介します。



企業ガイドみまさか

岡山県北で活躍している企業と地元就職希望の学生、UIターン希望者、求職者を繋ぐ情報誌「企業ガイドみまさか」を市内の高校生に配布します。



大学生などとUIターン希望者に真庭市で就職してもらう

企業説明会出展事業

市内事業者の人材確保や県外に進学している大学生などのUIターンの推進を図るため、都市部などにおいて企業説明会に出展する市内事業者に対し、その出展に係る経費の一部を補助します。



平成29年度新規事業(予定)

インターンシップ奨励事業

大学生などのインターンシップ（学生から社会人になる前に、これまで学んだ知識経験を生かして就業体験すること）を受け入れる市内事業者に対し、受け入れ事業者が負担する費用の一部を補助します。

**受け入れ学生1人につき、
1日当たり5000円×受入日数
(上限10万円)**



起業支援

まにわ創業塾 平成28年度は5月に実施

商工会が主催する創業に関する知識を学べるセミナーです。1日の講義を午前と午後に分けた8コマのうち4コマ以上出席し、経営、財務、人材育成、販路開拓のすべての分野を履修した人には、申請により真庭市から「特定創業支援事業証明証」が発行されます。

真庭市起業支援事業補助金

起業する人に経費の一部を補助します。
補助額：上限100万円
※特定創業支援事業証明証取得者は上限150万円
補助率：1/2以内

企業見学バスツアー

市内企業への就職を考えている学生や真庭市へのUIターンを考えている人を対象とした、市内の企業を巡るバスツアーを平成29年度に計画しています。地元での就職を考えている人、真庭市に興味・関心のある人は、ぜひご参加ください。詳細が決まり次第お知らせします。



☎ 産業政策課 TEL7-42-1033 (FAX1037)

ご利用ください 真庭市ふるさとハローワーク

真庭地域などに住んでいる人の職業相談・職業紹介サービスの利便性を考慮し、岡山労働局と真庭市が共同で、真庭市役所本庁舎敷地内に設置している施設です。気軽にご相談ください。

■開庁時間 8:30~17:00(土・日・祝・年末年始休み)

☎ 真庭ふるさとハローワーク TEL0867-53-0220 FAX0867-53-0221



真庭に「住む」

真庭市では、市内で暮らしたい人や市内への移住を考えている人を応援するため、さまざまな支援策を用意しています。その一部と利用された方を紹介します。

中古住宅取得補助金 **最大100万円**

真庭市に移住し、空き家を購入した人の土地・家屋購入費の1/3を補助します。

空き家情報バンク

市内の空き家を利用（購入または賃貸）したい人に、あらかじめ登録された物件の情報を提供をします。

空き家活用定住補助金 **最大100万円**

空き家の改修費用を補助します。対象工事の改修費用の1/4を補助します。

木材需要拡大補助金 **一戸当たり60万円**

市内の建築事業者に発注し、真庭市産木材を利用して家屋を新築される場合に補助します。

支援を利用した方の声



荒井 喜弘さん
貴代美さん(山田)

私たちは、昨年8月に岐阜県から北房へ転居してきました。きっかけは、以前住んでいたところで大雪の影響で電気が止まり、大変不便だったこと。また、当時娘家族が京都に住んでいたのですが、地震や災害が少なく、日照時間も多い岡山県内で果物農家になりたいと言ってきて、一緒に行こうということになったからです。

転居の検討を初めてからは、お試し住宅などを利用していただいていた大変助かりました。

住み始めてからは、ご近所の方から野菜や果物をたくさんいただいたり、その料理の仕方まで教えていただいたりと、とてもこの地域の人はあたたかく、良くいただいています。本当に来て良かったです。

5つのお試し住宅

真庭市の気候風土を体感するため、地域の方と交流、農業体験、職探し、住宅探しなどの拠点となる「お試し住宅」を用意しています。家族または個人で、長期または短期滞在までなど、ニーズに合うものを選ぶことができます。



北房お試し住宅



まにワッショイ古民館



クリエイト菅谷



中和お試し住宅



中和ファーマーズビレッジ

真庭市交流定住センター

真庭市交流定住センターでは移住・定住に関する情報提供や相談、地域とのマッチングや地域自主組織の活動のお手伝いを行っています。気軽にご相談ください。



■休業日 月曜日・火曜日、年末年始
■営業時間 10:00～17:00

■問い合わせ先 TEL7-44-1031 (FAX1037)
■ウェブサイト <http://i-maniwa.com/area/koryu/>



高橋玲奈さん 祐次さん(蒜山下和)

私たちは、昨年1月から中和に住んでいます。それまでは東京で生活していたのですが、都会では何でも手に入るけど、与えられたものしか食べられないということ、歳を取ることに疑問に思うようになってきました。そのうち、自分たちで作ったものを自分たちで採って食べたいと思うようになり、自然に囲まれた場所に移住することを決めました。

関東の人の多くが、長野県や山梨県に移住するのですが、私たちは、もっと遠く夏が涼しい場所がいいと思って調べていたところ、「蒜山」がいいんじゃないかということになりました。ちょうどその頃、東京の移住相談会に真庭市の方も来られていたの

で、そこで相談したところ、地域おこし協力隊の方や市の職員の方に、真庭を案内していただくことになりました。真庭に来た時に中和も案内していたのですが、地域の方が空き家を紹介してくださり、その場で家主さんに連絡をとってくださったりして、とんとん拍子で話が進み今に至っています。

中和に来て、夫婦で猟師になるために免許を取得しました。11月から猟が解禁になったばかりでまだ成果は出ていないのですが、猪などの被害も多いので、地域の皆さんへの恩返しのためにも、これから腕を磨いて、立派な猟師になつていきたいと思っています。

真庭へ移住された人

東京から真庭へ移住された高橋祐次さん・玲奈さんご夫婦と、京都から美甘へ帰ってこられた金光晃宏さんに、真庭への移住や帰ってこられたきっかけなど、お話を伺いました。

真庭に帰ってきた人

私は、平成18年に京都から美甘に帰ってきました。京都では、車の整備工場に勤め、結婚して、2人の子どもに恵まれ、一家4人で生活していました。

京都での生活に不自由なこととはなかったのですが、それでも帰ろうと思ったのは、親が高齢になってきたことと、3人目の子どもが生まれることになったこと。親の手伝いもしながら、生まれ育った自然豊かな故郷で、ゆつくり子どもたちを育てたいという気持ちが強くなり、30歳のときに帰ることを決めました。

帰ってから、さらに2人の子どもに恵まれ、今では5人の子どもたちに囲まれ、楽しく過ごしています。高校生の子どももいたりするので、こうやって家族そろって写真を撮るのは久しぶりです。

美甘に帰って来てよかったと思うことは、当たり前のことですが、周りが知り合いばかりだということ。都会では隣近所の付き合いもなかなか難しいと思うことがあります。こっちはそんなことはありません。昔からの知り合いばかりなので、安心できるし、みんなよくしてくれるので助かっています。それに、自然豊つていうところで、やっぱり美甘に帰ってきてよかったと思っています。



後列左から：金光真季さん、奈美子さん、直樹さん、晃宏さん
前列左から：葉都希さん、珠暉さん、優希さん



私たちは、このまちで生きていく
25年後、このまちはどうなっているのだろうか
私たちは、悲観しない





私たちは、このまちを誇りに思う
私たちは、このまちが大好きだ
私たちは、このまちを舞台に挑戦する

(第2次真庭市総合計画から抜粋)